

# 動乗勤改悪を許すな

## 乗務員分科会が学習会を開催

乗務員分科会は一月一九日、千葉運転区講習室において動乗勤制度改悪阻止にむけた「学習会」を開催しました。

十五年ぶりの大雪で、ダイヤが乱れる悪条件下にもかかわらず、全支部から七五名の組合員が参加し、真剣に学びました。

乗務員分科会は最先頭で闘う

西森会長があいさつ

安西執行委員の司会のもと、冒頭、乗務員分科会を代表して西森会長は、「国鉄当局は『59・2ダイヤ改』にひきつづき、いよいよ内達―動乗勤制度改悪七月実施にむけた攻撃を開始しています。これは国鉄職場の中軸を担う、乗務員を屈服させることをもって国鉄労働運動を解体しようとする攻撃であり、絶対に認めることはできません。動労『本部』革マルは『職場と仕事を守る』『働こう運動』のもと、率先して裏切ることは明らかです。乗務員分科会は動労千葉の最先頭で、無協定状態も辞さず闘いぬく決意であり、そのためにも本日の学習会で動乗勤問題に対する理解を深めてほしい」とあいさつしました。

パネルディスカッションによる学習

「学習会」はまず第一部として、動力車乗務員勤務の変遷、内達一号制定に至る背景、現行勤務体系に至る経過、動乗勤改悪の狙い、提案されてきた背景、について高橋執行委員より提起をうけました。

とりわけ、内達一号が一日平均換算時間の充実と継続乗務時間の延長、折返し時間の短縮と実乗務以外の作業時間の減少を中心とする、乗務能力向上労働強化を目的に制定されたことが明らかにされました。

「学習会」の第二部は、動力車乗務員の勤務等主要項目の現改比較と動労千葉の主張について、パネルディスカッションの形式で行われました。

まず大岩副会長が現行内達一号の各項目について説明、つづいて「当局側」にたつて安田事務長が「改訂」を提案、これに対して渡辺執行委員が労働組合の立場から反対論と動労千葉の主張を展開しました。

パネルディスカッションは、初めての試みでもあり、「当局側」・安田事務長に手こずったり、「労働組合側」もつい本気になりかけたりで、いつもの団体交渉のようにはいかず、学ぶ側にとっては理解しやすく、楽しく学習することができました。

84. 1. 25

No. 1547

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七



熱心に学習する参加者

職場討議、学習会等の取り組みを強化しよう

動乗勤改悪のポイントは、労働時間、超過勤務、待合わせ時間、一継続乗務キロ、一基準日当り乗務キロであり、動力車乗務員の「働き度」を限度いっぱいまで引きあげようとするものです。

われわれは改悪提案以降、内達対策委員会を中心に討論を深め、「申第13号」を発売し組合要求の実現にむけて取り組んできました。

当面、乗務員分科会を中心に各支部で職場討議、学習会等の取り組みを強化し、動乗勤改悪を阻止していこうではありませんか。

「学習会」は、以上のことを確認し成功裡に終了しました。

### 芝山町議選 候補者の当選を助けて

芝山町在住の知人に投票依頼を！本部に知人紹介を！  
空港推進派や条件派・脱落派の妨害をうち破って、反対同盟を代表して鈴木幸司候補は連日奮闘しています。（2月11日投票日）。動労千葉も推せんを決定し支援しています。  
「山武郡芝山町」に親せき・友人・知人等のある方は、支部又は本部にご紹介下さい。そして「鈴木さんをお願いします」と電話・手紙等でどんどん投票依頼をお願いします。